

## 裁判官へインタビュー

普段、なかなか接する機会のない裁判官。裁判官は普段どんな仕事や生活をしているのか、以前、広島裁判所におられた吉岡茂之裁判官にお話を伺いました！

### Q 吉岡裁判官のこれまでの経歴は？

これまでに山口地方裁判所→司法研修所(教官)→広島地方裁判所→大阪地方裁判所で仕事をしてきました。裁判官は一般的に3年くらいで全国に異動するんですが、異動して勤務地が別々になった後も交流が続く裁判官の仲間もいますね。

### Q 裁判官の一日ってどんな感じ？

裁判官は、「勤務時間」という概念がないので出勤・退勤時間の決まりはないんです。裁判などの予定がない日であれば、在宅で仕事することもできますよ。裁判官にもよりますが、私は、判決を書く日などは自宅に裁判記録を持ち帰って、集中できる環境で書くようにしています。私の場合、担当事件の数は、単独事件が60~70件、合議事件(3人の裁判官で担当する事件)が100件くらいありますかね。

### Q 裁判官って法服をたくさん持っているの？

法服は裁判の時しか着ないので、基本的に1着しか持っていません。洗い替えを持っていて着回しているという同僚に会ったことはないですね。もちろん、破れたり、傷んできたりしたら、新しい法服を裁判所が支給してくれます。私が現在使用している法服はまだ2代目で、初代の法服は10年くらいずっと着ていました。豆知識ですが、女性用の法服は首元のリボンの有無が選べるんですよ。

### Q 吉岡裁判官が裁判官を目指したきっかけは？

修習生の時に会った裁判官が、職場で夜遅くまで仕事する人や、午後5時を過ぎたら帰宅して家で仕事する人など、それぞれのライフスタイルに合わせて仕事をしていたのを見たことですかね。どの裁判官も今でいう「ライフワークバランス」を取りながら仕事をしていて、私も裁判官の仕事であれば長く続けることができそうだと思います。

### Q 裁判官の異動ってどうやって決まるの？

裁判官が異動する際には、ある程度は本人の希望を反映してくれるようです。でも、私は司法研修所の教官を希望したことはなくて、異動先が裁判所ではなく司法研修所と決まった時は、とても驚きましたね。裁判官と教官の仕事は全然違うので。でも、広島との御縁は、この教官時代にできたものですし、今、広島で活躍しておられる弁護士の中にも私の教え子がたくさんいるんですよ。

### Q 広島で生活されていた時のことを教えてください！

広島地方裁判所に在籍している間は、山口市にある自宅から毎日新幹線で通勤していました。広島は、いわゆる「大都市」でありながら、コンパクトにまとまっていて便利です。ね。

私は愛妻弁当を持参していたんですが、機会があれば、横川駅近く



裁判官人生の中で  
深い御縁のできた広島で  
またいつか仕事ができる  
日が来たらいいなと思っ  
ていますね

の「得」というお好み焼き屋に行っていました。お気に入りの汁なし担々麺のお店は最近閉店したようでとても残念です。

あと、新白鳥駅から裁判所へ向かう道すがら、広島城の横を通るんですが、そこからお堀越しに見える広島城が大好きでした。特にこの写真の角度が私のお気に入りです！ちなみに、好きな広島土産はチョコレート味のもみじ饅頭です。子どもが大好きでよく買って帰るよう頼まれていました(笑)。



### Q 広島への弁護士に対するイメージは？

広島への弁護士の印象といえば、「とにかく広島のみなさんのために一生懸命！」。裁判期日の場面で弁護士と大いに議論したときに実感しました。裁判以外でも、日頃から広島のみなさんに寄り添っておられますね。最も印象に残っているのは、私が広島に来て間もない平成26年の豪雨災害の際に、弁護士がいち早く法律相談の場を設けたことで、その「熱量」が私にはまばゆく感じられました。

弁護士の羨ましいと思う点は「自分が手掛けたい仕事を選べる」という点ですね。裁判官は基本的には担当する事件が機械的に割り当てられるので、事件を選べません。もともと、機械的に割り当てられることで公平さが保たれているんです。

### Q 最後に一言お願いします！

裁判官としての私と広島とのかわり、司法研修所教官の時代も含め、トータルで7年余りに及びます。私の裁判官人生の中では最長ですね。ここまで深い御縁のできた広島で、またいつか仕事ができる日が来たらいいなと思っています。